※令和４年度以降入学生用

学校番号	T1202

令和５年度　公民科

教科	公民	科目	倫理	単位数	２単位	年次	２～４年次
使用教科書	高校倫理（実教出版）						
副教材等	自作教材・プリント						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・先人の思想や生き方を、時代背景やエピソードとともに理解する。
・現代社会の倫理的な課題について考えをまとめ、自分らしい生き方を追求する。

２　学習の到達目標

西洋や東洋の諸思想の学習を通して、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、様々な資料から、人間としての在り方や生き方に関する情報を調べまとめる技能を身に付ける。自立した人間として、よりよく生きる自己の生き方について、より深く思索し、現代の倫理的な諸課題の解決に向けて、論理的に思考し、表現する力を養う。よりよく生きる自己の形成に向けて、現代社会に生きる人間としての在り方や生き方についての自覚を深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	西洋や東洋の諸思想の学習を通して、現代の諸課題をとらえ、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、様々な資料から、人間としての在り方や生き方に関する情報を調べまとめる技能を身に付けている。	自立した人間として、よりよく生きる自己の生き方について、より深く思索し、現代の倫理的な諸課題の解決に向けて、論理的に思考し、表現しようとしている。	人間としての在り方や生き方についての事象や課題を意欲的に追求し、よりよく生きる自己の形成に向けて、主体的に学習しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	青年期の課題と自己形成	・人間とは何か ・青年期とは何か ・自己形成の課題 ・自立への課題	a:青年期の課題を踏まえ、人格、感情、発達についての心理学の考え方をもとに、人間の心の在り方を理解している。 b:青年期がどのような位置にあり、とのような発達課題があるかを考察し、表現している。 c:青年期の意義と課題について関心をもち、意欲的に探求しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 プリント 発表	授業観察 プリント
	人間としての自覚	・ギリシア思想 ・キリスト教 ・イスラーム ・仏教 ・中国思想	a:ギリシア思想やキリスト教、イスラーム、仏教、中国思想について理解している。 b:ギリシア思想やキリスト教、イスラーム、仏教、中国思想などの考え方を手掛かりとして、人間の生き方についてよく考察している。 c:ギリシア思想やキリスト教、イスラーム、仏教、中国思想に関心をもち、意欲的に探求しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 プリント 発表	授業観察 プリント
	日本人としての自覚	・古代日本人の思想 ・日本の仏教思想 ・近世日本の思想 ・西洋思想の受容と展開・	a:日本の風土や伝統、仏教や儒教、西洋思想などの外来思想の受容と吸収について、日本人にみられる人間観や自然観、宗教観について理解している。 b:日本人にみられる人間観や自然観、宗教観の特質について考察している。 c:日本の風土や伝統、外来思想の受容についての関心をもち、国際社会に生きる主体性のある日本人としての在り方や生き方を追求しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 プリント 発表	授業観察 プリント

※令和４年度以降入学生用

後期	現代に生きる人間の倫理	・ルネサンスと宗教改革 ・科学技術と人間 ・民主社会と自由の実現 ・社会と個人 ・人間への新たな問い ・社会参加と幸福	a:ルネサンス以後、西洋で形成、展開されてきた合理的精神や民主社会の倫理、科学技術文明の在り方、人間の尊厳の自覚などについて、自己の生き方とつなげて理解している。 b:現代に生きる人間が直面する諸課題について、ルネサンス以後から現代に至る西洋思想を手掛かりとして、多面的・多角的に考察し、倫理的な見方や考え方を身に付け、自己の生き方にどのようにかかわるかを公正に判断している。 c:現代に生きる人間が直面する諸課題について関心をもち、倫理的視点から意欲的に追求しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 プリント 発表	授業観察 プリント
	現代の諸課題と倫理	・生命の倫理 ・環境の倫理 ・家族の課題 ・地域社会の課題 ・高度情報化社会の課題 ・文化と宗教の課題 ・国際平和と人類の福祉の課題	a:現代の生命倫理や環境倫理の問題について、家族や地域社会の在り方、情報社会の在り方について、異文化の尊重や国際平和について理解し、人格形成に活かす知識として身に付けている。 b:　現代の生命倫理や環境倫理の問題について、家族や地域社会の在り方、情報社会の在り方について、異文化の尊重や国際平和について、それぞれの倫理的諸課題を自己の課題とつなげて多面的・多角的に考察し、現代に生きる人間としての自己の在り方や生き方について主体的に判断している。 c:現代の諸事象における倫理的課題から、関心のある問題を積極的に選択し、自己の課題とつなげて意欲的に追求している。	定期考査 小テスト	定期考査 プリント 発表	授業観察 プリント

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度